

定期作況報告

平成20年6月
(6月20日現在)

北海道立北見農業試験場

1. 気象経過

5月下旬：最高気温は平年より極めて低く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年より低かった。降水量は平年並（平年比110%）。日照時間は平年より少なかった（平年比60%）。

6月上旬：最高気温、最低気温、平均気温ともに平年よりやや高かった。降水量は平年並であった（平年比101%）。日照時間も平年並であった（平年比111%）。

6月中旬：最高気温、最低気温、平均気温はともに平年よりやや低かった。降水量は平年並であった（平年比82%）。日照時間は平年並であった（平年比85%）。

以上のことから、この1か月間（5月下旬～6月中旬）は平年と比較して、気温はやや低く、降水量、日照時間はともに平年並であった。

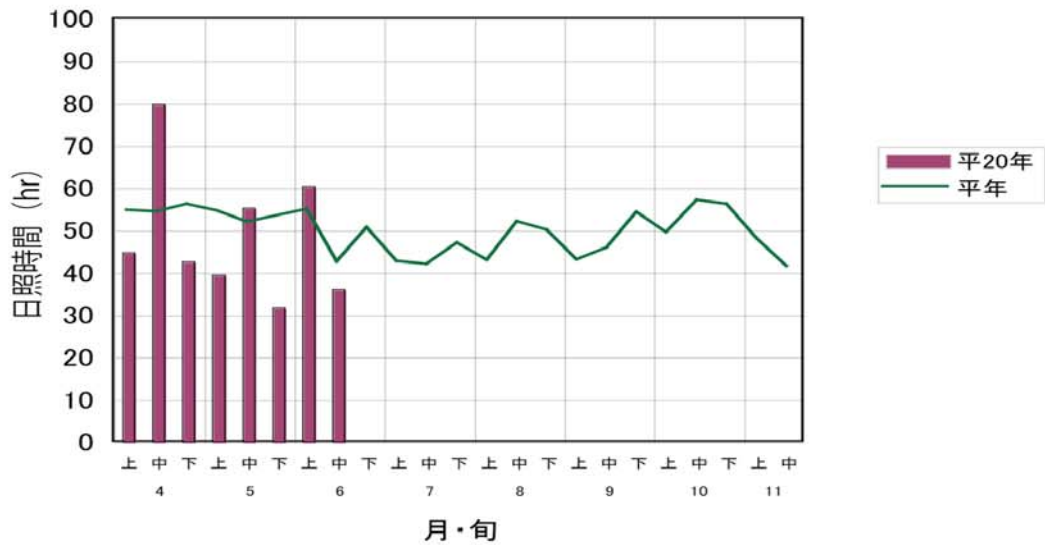
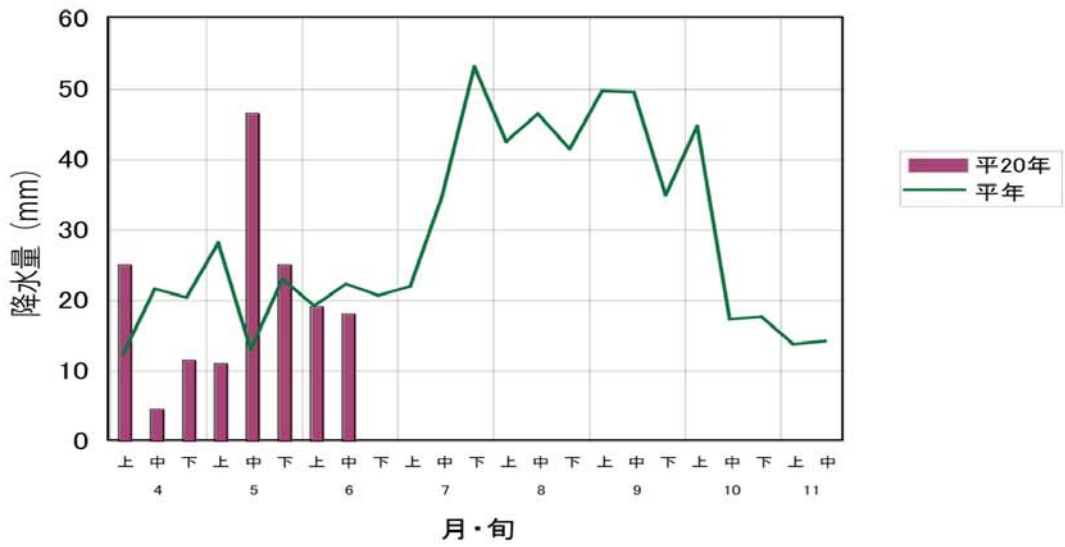
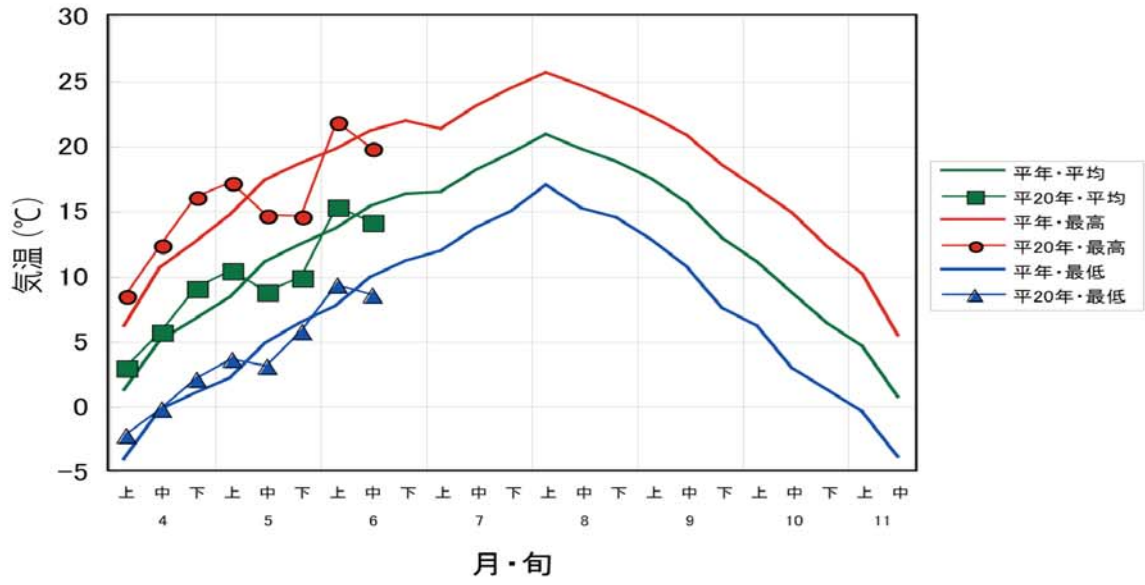
注）降水量、日照時間についての平年値との比較表現は、各旬における過去10年間の出現値の幅に基づいているため、「平年並」に含まれる値の範囲は旬毎に異なる。

気 象 表

項目 月旬	平均気温（℃）			最高気温（℃）			最低気温（℃）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5月下旬	9.9	12.3	△2.4	14.6	18.5	△3.9	5.7	6.3	△0.6
6月上旬	15.3	13.5	1.8	21.8	19.6	2.2	9.3	7.6	1.7
6月中旬	14.1	15.2	△1.1	19.8	21.0	△1.2	8.6	9.8	△1.2
平均	13.0	13.6	△0.6	18.6	19.7	△1.1	7.8	7.8	0.0

項目 月旬	降水量（mm）			日照時間（hr）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
5月下旬	25.0	22.7	2.3	31.7	53.2	△21.5
6月上旬	19.0	18.9	0.1	60.4	54.6	5.8
6月中旬	18.0	22.0	△4.0	36.0	42.2	△6.2
合計	62.0	63.6	△1.6	128.1	150.0	△21.9

注） 1）観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。
2）平年値は前10か年間の平均である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走支庁管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦 作況：平年並

事由：5月下旬および6月中旬は低温寡照で生育が緩慢となったが、出穂期は平年より1日早く、草丈は平年をやや上回った。茎数は平年をやや下回っている。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ホクシン		
	本年	平年	比較
出穂期 (月・日)	6.9	6.10	△ 1
草丈 (cm) (6月20日)	95.9	90.3	5.6
茎数 (本/m ²) (6月20日)	699	742	△ 43

注) 平年値は前7か年中、平成14年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 春まき小麦 作況：やや良

事由：5月中・下旬の低温により生育はやや遅れたものの、その間、分けつが促進された。その後、6月上旬は気温がやや高く推移したため生育は回復し、草丈はほぼ平年並で、茎数は平年を上回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目	ハルユタカ			春よ恋		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈 (cm) (6月20日)	68.0	66.9	1.1	68.4	66.1	2.3
茎数 (本/m ²) (6月20日)	972	701	271	993	718	275

注) 平年値は前7か年中、「ハルユタカ」は平成15年(最凶)、18年(最豊)を、「春よ恋」は平成14年(最凶)、18年(最豊)を除く5か年平均。

3) とうもろこし 作 況：やや不良

事 由：播種期は平年より1日早い5月16日で、出芽期は平年並の5月30日であった。出芽期以降は6月中旬の気温が平年よりやや低く推移したため、草丈・葉数ともに平年を下回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.16	5.17	△ 1
出芽期 (月.日)	5.30	5.30	0
草丈(cm) (6月20日)	25.4	33.9	△ 8.5
葉数(枚) (6月20日)	4.4	4.8	△ 0.4

注) 平年値は前4か年の平均(供試品種が変更されたため)。

4) 大 豆 作 況：平年並

事 由：平年より1日遅い5月23日に播種を行った。播種後の5月下旬は低温であったが、6月上旬はやや高温に推移したため、出芽期はほぼ平年並であった。出芽後の6月2半旬～4半旬の平均気温は平年並であった。主茎長は「トヨコマチ」が平年よりやや低いが、「ユキホマレ」は平年並で、本葉数は両品種とも概ね平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	トヨコマチ			ユキホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.23	5.22	1	5.23	5.22	1
出芽期 (月.日)	6.6	6.6	0	6.6	6.7	△ 1
主茎長(cm) (6月20日)	9.2	10.3	△ 1.1	9.0	9.2	△ 0.2
本葉数(枚) (6月20日)	0.6	0.8	△ 0.2	0.6	0.7	△ 0.1

注) 平年値は前7か年中、平成13年(最凶)、17年(最豊)を除く5か年の平均。

5) 小豆

作況：やや不良

事由：平年より1日遅い5月23日に播種を行った。播種後の5月下旬は低温であったが、6月上旬はやや高温に推移した。出芽期は平年より3日遅かった。出芽後の6月中旬の気温は平年よりやや低く、主茎長および本葉数は平年をやや下回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	エリモシヨウズ			サホロシヨウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.23	5.22	1	5.23	5.22	1
出芽期 (月.日)	6.11	6.8	3	6.10	6.7	3
主茎長(cm) (6月20日)	3.2	4.2	△ 1.0	3.0	4.0	△ 1.0
本葉数(枚) (6月20日)	0.1	0.3	△ 0.2	0.1	0.4	△ 0.3

注) 平年値は前7か年中、平成15年(最凶)、18年(最豊)を除く5か年の平均。

6) 菜豆

作況：やや不良

事由：平年より1日遅い5月23日に播種を行った。播種後の5月下旬は低温であったが、6月上旬はやや高温に推移した。出芽期は平年より3日遅かった。出芽後の6月中旬の気温は平年よりやや低く、主茎長および本葉数は平年をやや下回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	大正金時			福勝		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.23	5.22	1	5.23	5.22	1
出芽期 (月.日)	6.9	6.6	3	6.10	6.7	3
主茎長(cm) (6月20日)	8.6	10.3	△ 1.7	8.2	9.4	△ 1.2
本葉数(枚) (6月20日)	0.2	0.9	△ 0.7	0.3	0.9	△ 0.6

注) 平年値は前7か年中、平成19年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年の平均。

7) ばれいしょ 作 況：不良

事 由：5月中旬の天候不順の影響を受け、植え付けは平年より遅れ、「男爵薯」を5月16日、「コナフブキ」を5月19日に行った。さらに、植え付け後5月中・下旬は気温が極めて低く推移したため、萌芽期は平年より「男爵薯」で6日、「コナフブキ」で10日遅かった。6月上旬は気温がやや高く推移し適度な降水もあったが、植え付けおよび萌芽の遅れを反映し、茎長は平年より「男爵薯」で7cm程度、「コナフブキ」で10cm程度低かった。一方、茎数は「男爵薯」、「コナフブキ」とも平年を上回った。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期 (月・日)	5.16	5.11	5	5.19	5.12	7
萌芽期 (月・日)	6.6	5.31	6	6.12	6.2	10
茎長(cm) (6月20日)	10.6	17.8	△ 7.2	7.3	17.0	△ 9.7
茎数(本/株) (6月20日)	5.0	3.1	1.9	3.3	2.6	0.7

注) 平年値は前7か年中、「男爵薯」は平成15年(最凶)、17年(最豊)を、「コナフブキ」は平成15年(最凶)、18年(最豊)を除く5か年の平均。

8) てんさい 作 況：不良

事 由：6月11日の雹害は免れたものの、5月下旬の低温・寡照、6月中旬の低温・乾燥のため、移植栽培の茎葉重は平年の1/2以下にとどまり、前節の降霜害による生育の遅れは取り戻せていない。直播栽培も同様に、茎葉重は平年の約1/2である。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	21.8	28.5	△ 6.7	21.5	27.5	△ 6.0	11.8	14.4	△ 2.6
生葉数(枚) (6月20日)	10.1	11.5	△ 1.4	9.4	11.2	△ 1.8	5.5	6.9	△ 1.4
茎葉重(g/個体) (6月20日)	53	119	△ 66	50	104	△ 54	7	14	△ 7
根重(g/個体) (6月20日)	10	22	△ 12	10	19	△ 9	1	1	0

注) 平年値は前7か年中、移植「モノホマレ」は平成15年(最凶)及び17年(最豊)、「アーベント」は平成14年(最凶)及び16年(最豊)、直播「モノホマレ」は平成14年(最凶)及び16年(最豊)をそれぞれ除く5か年の平均。

9) 牧 草 (チモシー)

作 況 : 平年並

事 由 : 気温は5月下旬が低く推移したものの、6月上旬はやや高く推移したため、6月5日の草丈は平年並であった。出穂始は6月12日と平年並で、出穂期は6月19日と平年より1日遅かった。1番草の病害罹病程度は平年と比べやや高かったが、これは5月下旬および6月中旬がやや低温で推移したことが一因と考えられる。1番草の草丈は平年並であった。なお1番草の収穫は6月19日に行った。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
出穂始	(月.日)	6.12	6.12	0
出穂期	(月.日)	6.19	6.18	1
出穂程度	1番草	5.0	5.7	△ 0.7
刈取日	1番草	6.19	6.19	0
倒伏程度	1番草	1.0	2.5	△ 1.5
病害罹病程度	1番草	3.3	1.5	1.8
草丈(cm)	(6月5日)	76	74	2
	1番草	103	100	3

注) 平年値は前6か年のうち平成19年(最凶年)を除いた5か年の平均値(耕種概要・調査項目が大幅に変更されたため)。

倒伏程度および病害罹病程度は、1:無または微-9:甚。病害は主に斑点病。

10) たまねぎ

作 況 : 平年並

事 由 : 5月下旬は低温に経過したため生育は停滞した。その後、6月上旬はやや高温に経過したことと適度な降雨があったことにより生育は概ね順調に推移し、「改良オホーツク1号」、「スーパー北もみじ」とともに草丈、生葉数および葉鞘径はほぼ平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並み」である。

調査項目		改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm)	(6月20日)	42.7	42.5	0.2	38.0	34.8	3.2
生葉数(枚)	(6月20日)	6.5	6.0	0.5	6.6	5.7	0.9
葉鞘径(mm)	(6月20日)	10.2	10.1	0.1	9.5	8.5	1.0

注) 平成15年に圃場を変更したため、平年値は平成15年から19年までの5か年の平均。